

2018 年度 入学 試験 問題

数 学

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 2つの袋  $A$  と  $B$  があり、 $A$  には白玉 3 個と赤玉 2 個が、 $B$  には白玉 4 個と赤玉 6 個が入っている。以下の問に答えよ。(30 点)

(1) 袋  $A$  と  $B$  からそれぞれ 1 個の玉を取り出して、 $A$  から取り出した玉は  $B$  に入れ、 $B$  から取り出した玉は  $A$  に入れる。このとき、次の問に答えよ。

(a) 袋  $A$  と  $B$  のどちらからも白玉が取り出される確率を求めよ。

(b) 袋  $A$  の中の白玉と赤玉の個数が変わらない確率を求めよ。

(2) 袋  $A$  と  $B$  からそれぞれ 2 個の玉を取り出して、 $A$  から取り出した玉は  $B$  に入れ、 $B$  から取り出した玉は  $A$  に入れる。このとき、どちらかの袋の中の玉が全て同色となる確率を求めよ。

(3) 1 個の公平なサイコロを投げて、 $\{1, 2, 3, 4\}$  のうちのいずれかの目が出たら袋  $A$  から玉を 1 個取り出し、 $\{5, 6\}$  のうちのいずれかの目が出たら袋  $B$  から玉を 1 個取り出す。このとき、次の問に答えよ。

(a) 白玉が取り出される確率を求めよ。

(b) 取り出した玉が白玉であったとき、それが袋  $A$  から取り出した玉である確率を求めよ。

II 原点を  $O$  とする座標平面上に 2 点  $P(2\cos\theta, 2\sin\theta)$ ,  $Q\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{1}{2}\right)$  をとる。ただし,  $-\pi < \theta < \pi$  であるとする。以下の間に答えよ。(35 点)

(1) ベクトル  $\vec{OP}$  と  $\vec{OQ}$  の内積  $\vec{OP} \cdot \vec{OQ}$  を  $\theta$  を用いて表せ。

(2) 問 (1) の内積を  $\theta$  の関数とみて  $f(\theta)$  と表すとき,  $f(\theta)$  の最大値を求めよ。

(3) 不等式  $f(\theta) \geq 0$  を満たす  $\theta$  の値の範囲を求めよ。

(4)  $\theta$  が問 (3) の範囲を動くとき, 関数  $y = (f(\theta) + 1)^2(2 - f(\theta))$  の最大値と最小値を求めよ。また, そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

III  $x$  についての整式  $P(x) = ax^{3n} + bx^{3n-1}$  を  $x^2 + x + 1$  で割った余りが  $x + 3$  であるとする。ただし、 $a, b$  は実数の定数で、 $n$  は自然数の定数である。以下の問に答えよ。(35 点)

- (1) 方程式  $x^3 - 1 = 0$  の解をすべて求めよ。
- (2) 問 (1) の 1 以外の解の 1 つを  $\omega$  と表すとき、もう 1 つの解は  $\omega^2$  であることを示せ。
- (3)  $\omega, \omega^2$  はともに方程式  $P(x) - x - 3 = 0$  の解であることを示せ。
- (4)  $a, b$  の値を求めよ。